

中学2年国語 「仁和寺にある法師—「徒然草」から」

ねらい

伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫して書く。

学習展開（2時間）

第一次

<三大随筆とは、どんなものだろう？>

第二次

<兼好法師はなぜ「少しのことにも先達はあらまほしきものなり」とまとめたのか？>

第三次

1時

<伝えたいことがわかりやすく伝わるようにするにはどんな段落が必要だろう？>

段落同士のつながりを明確にして、文章の構成を考える。

2時

<「徒然草」のエピソードを面白く紹介しよう>



気になる話を選ぼう

- 1 高名(こうみょう)の木登り 第九九段
- 2 丹波に出雲といふ所 獅子と狛犬 第二百三十六段
- 3 奥山に猫また 第八十九段
- 4 ある人、弓射ることを習ふに 第九十二段
- 5 神無月(かなづき)のころ 第十一一段
- 6 水車の専門家 第五十一一段
- 7 調子に乗ってふざげると 第五十三一段
- 8 ある者、子を法師になして 第八十八一段
- 9 上達のコツ 第五十一段
- 10 双六の上手 勝負の秘訣 第一百段

下のリンク先から、徒然草の各段の原文と訳文が読めます。

tsurezuregusa.com

www.aozora.gr.jp

指導のポイント

・教科書以外の章段で中学生にもわかりやすく、伝わりやすい章段を用意し、自分自身の経験と比較したり、現代に置き換えたりするなど、自分事としての視点を持たせて思いや考えを書くように指導した。

・オクリンクプラスで補助となるワークシートを配布し、具体的に段落相互の関係を意識できるように指示した。

学校図書館との関わり

- ・徒然草 244 段の中で生徒に内容が身近なものや理解しやすいエピソードを選択し、オクリンクプラスで選択肢集計できるように設定。
- ・徒然草について書かれた図書資料の収集、提供といくつかの章段についての簡単なブックトーク。
- ・青空文庫など徒然草の原文と訳文が読めるウェブサイトへのリンクを提供。